

令和6年度 学校関係者評価

(1)骨太の人間力と進路実現のための学力の育成について（評点平均 3.5 ※満点は4）

ア 学力検討会や進路方針など先生方が連携され、生徒の育成に日々ご尽力されていることは資料や実施状況を見ても一目瞭然であり、生徒一人一人に向き合った教育をされていると感じます。働き方改革等による時間の無い中での様々な分野の研修など大変だと思います。評価項目2でも記載しましたが、多様性の時代であり心の弱い生徒もたくさんいます。仕組みと実施内容、結果のバランスが難しいところですが一人一人の人間力、学力育成のための教育内容以外の仕組みづくりについてもさらなる取り組みを期待しています。

イ 様々な行事に対して、生徒に主体的に取り組ませることで、自立した人間の育成や他を思いやる心の育成につながっていると思います。進学校にもかかわらず、部活動加入率が高い事も大変評価できます。

ウ 重点目標に「人間力」を掲げていますが、社会生活を営む上で重要な要素の一つだと思います。そのために、読書活動を推進し、それなりの成果があがっているようですので、今後とも推進していただきたいです。

エ 学校行事の精選や教育課程単位数の整理、ICT活用による学びの質の向上に取り組むとともに、校内ビブリオバトルや萌樹祭など考える力や主体的に取り組む活動等にも工夫が見られ、継続して取り組んでいただければ、人間力と学力の育成について非常に期待が持てる内容であり、延高等さらに飛躍していくことが期待される。

(2)SSH 研究開発による科学技術人材の育成について（評点平均 3.6）

ア SSH 事業においてⅠ期の事業内容の見直し、Ⅱ期の申請に向けての取り組みが入念に行われており評価できます。また、ユネスコスクール認定申請など新たな申請にも積極的に取り組まれており、人材育成に向けた教育開発は期待以上のものがあり今後の延岡高校の発展が楽しみです。ただし、教育開発を含む評価項目2、評価項目1は連携した取り組みであるべきであり、仕組みと受け手の生徒の能力、学力などに乖離が少ないと重要だと考えます。時間のない高校生の生活の中で、全校生徒に合わせる仕組みの構築は難しいと思いますが、多様な生徒に対応できる幅広い教育プログラムの提供を期待します。

イ SSHの第Ⅰ期のこの5年間は、目標に挑戦し様々な課題を解決する自信にもつながっており、大きな成果をあげられたと思います。

ウ これからの世の中では、特に科学技術人材の育成は重要で、そのために地域や世界の課題に取り組んだこと自体、評価したい。

エ SSH第Ⅱ期の指定に向けた取組の新しい工夫も見られ、OBや企業、大学、団体や自然環境などの様々な地域資源を活用しながら、生徒の科学技術への興味を深めるとともに、課題研究を通じた新たな興味の広がりなどが期待できる。

(3)家庭等との連携による信頼される学校づくりについて（評点平均 3.3）

ア PTA 総会の出席率、学校行事協力委員など全体的に保護者会と学校との連携がなされており、今後も継続して連携していってほしいと思います。地域に向けての情報発信については、新聞に取り上げられる数が例年より少なかったように感じています。また、ホームページの保護者向けページの作成や SNS 発信など、子供たちの取組が見えると地域の学校への理解が高まると思います。

防災訓練やヘルメット着用取組も当たり前のことではありますが、それを実施していくこと、注意喚起していくことは容易なことではないと思います。変わらず取組を続けていただき少しでも安心・安全な環境を生徒に提供できるよう保護者や地域の方との連携をお願いします。

イ PTA総会の保護者出席率9割以上という内容は非常に素晴らしい、保護者と学校との信頼関係と協力体制がうまくいっている証だと思います。同窓会との信頼関係も強く、お互いの行事等への参加交流等、今後も協力体制を十分とていただきたいと思います。

ウ 信頼される学校作りに大切なことの一つは、ルールやマナーを守ることです。挨拶はできているか、ヘルメットの着用を含めた交通ルールは守っているか、選挙の啓発活動はしているか、また地域の行事に協力しているか等、具体的な行動の中で、信頼は醸成されるものだと思います。

エ 令和 5 年 4 月に努力義務化された自転車乗車時のヘルメット着用については、着用による安全性は非常に高いものの、自主性に任せていっては進まないことが懸念されており、いかに習慣化させるかということが全国的な課題である中、自転車での行動が多い生徒の安全確保を第一に考え、様々な反発が予想される中で着用を校則として定める方針は非常に評価できる。また、校風を考えると実施の効果が高いと考えている。来年度以降の生徒指導部における交通安全指導については先生方の御苦労が絶えないと思うが、よろしくお願ひしたい。

(4)MS 科の進化と普通科のさらなる充実について（評点平均 2.8）

ア 金丸医師の講演会など新たな行事の計画、実施やホームページなどでの発信などメディカル・サイエンス科の取り組みはとても評価できると思います。ただ、全国的なものもあるとは思いますが、一般選抜の募集定員を下回る志願者などの（理系希望者が少ない、中学校の段階で選択できない）状況から評価点を 2.5 とさせていただきました。普通科とメディカル・サイエンス科の違い（魅力）をもう少し分かりやすく発信できれば良いのではないかと思います。

イ 進学校として国公立大学合格率を含め良い成績をあげており、生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、更なる積極的な取組を望みます。

ウ 課外授業の習熟度別クラス編成や選択制など補修としての機能が年々向上しており一定の評価ができる。学校ではなく予備校に求める機能であり、別途生徒保護者に負担を求める事にもなるとは思うが、ICTが発達した今日、タブレット端末などが活用できる外部教材などの体系的な活用により、科目別の習熟度に応じた学習や高度な学力習得の推進、動画で単元ごとに繰り返し自主学習を行えるような工夫により、生徒自らが弱点補強ができるよう学習環境を整えるような取組により、学校全体の学力のさらなる底上げを図ることで都市部の進学校や中高一貫校との差を縮める方法もあるのではないかと思う。